



しおかぜ通信

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



郡築小ホームページ

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

R8,5,7 No,6

めざせ!「体力王」(体力向上の取組)

4月27日(月)に「全校集会」を行いました。今回は、体育担当の先生から、「目指せ!体力王」と銘打った、体力アップに向けた新たな取組について説明がありました。

これは、子供たちが、普段の生活の中で、楽しみながら体力を増強させるという取組です。具体的には、徒歩で登下校したら、距離に応じて片道最大3ポイント、昼休み時間に運動場(もしくは体育館)で体を動かす遊びをしたら1ポイント、掃除時間いっぱいぞうきんがけをしたら1ポイントを獲得でき、それを帰りの会の中でシートに記していくというものです。

そして、1シート分の100ポイントを貯めたら、色違いのシートへ移行していき、500ポイント(シート5枚分)及び800ポイント貯めた子供は、その頑張りを称え校内放送で紹介したり、1000ポイント貯めた子供には、その頑張りを称え賞状を授与したりする予定です。その他、(児童会活動の)体育委員会からボーナスポイントイベントが時折行われる予定もあるそうです。

説明を聞いていた子供たちからは、「よし、頑張ろう」というつぶやきが聞こえてきました。そして、その言葉通り、翌日から徒歩での登下校や外遊びをする子供の人数が格段に増えました。

この取組を通して、低下している子供たちの体力が、向上することを期待しています。保護者の皆様もこの取組をご承知の上、体力向上に励んでいるお子様を賞賛・応援してあげてください。よろしくお願いいたします。



この「目指せ!体力王」の取組は、県教育委員会が推進する「1学校1チャレンジ」の一環として取り組んでいるものです。「1学校1チャレンジ」とは、児童生徒の運動・スポーツへの関心を高め、体力向上や運動の習慣化を目指す取組です。「第4期くまもと教育プラン」に基づき、令和7年度から本格展開され、学校主体で楽しい体力づくり活動を行うプロジェクトです。

児童会活動目標「自ら学ぶ、あいさつ日本一」の発表

4月30日(木)に今年度最初の児童会主催による「児童集会」があり、今年度の児童会活動目標が発表されました。

会では、まず、各委員会の委員長の自己紹介がありました。続いて、運営委員会から、各学級から出された意見を基に決めた、児童会活動目標「自ら学ぶ、あいさつ日本一」の発表がありました。

この目標は、学校教育目標と関連させたようで、子供たちの学校教育目標の達成に向けた意識の高さを感じると共に、頼もしさを感じました。



言葉よりも響く「後ろ姿」

朝、校門で子供たちを迎えている時、笑顔で「おはようございます」と挨拶する子供の姿から、ご家庭での温かなあいさつや会話が透けて見えることがあります。

「子は親を映す鏡、弟子は師を映す鏡」と言いますが、「勉強しなさい」と言う百の言葉より、親が楽しそうに読書をする姿が、子供の知的好奇心を刺激します。子供は大人の言葉より、行動を見ています。挨拶も、マナーも、相手を思いやる心も、まずは私たち大人が「見本」という名の種をまくことから始まります。完璧な親、完璧な教師である必要はありません。ただ、子供たちの鏡に映る自分が、前向きで、誠実で、寛大な姿でありたい。そんな願いを、保護者の皆様や地域の皆様と共有していきたいと思ひます。